

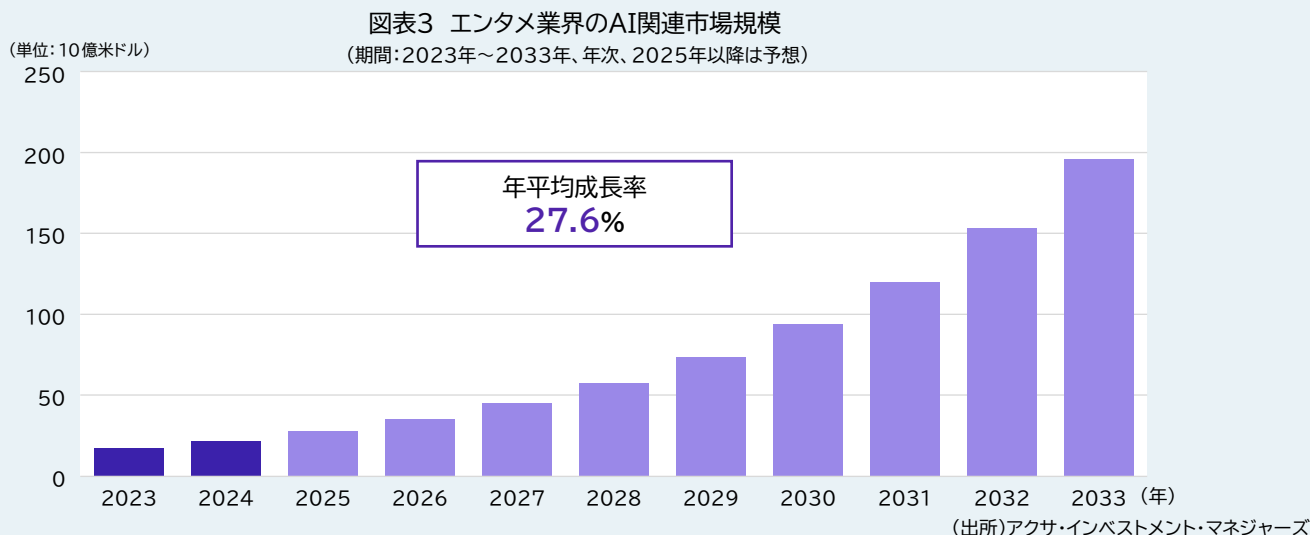
エンタメ業界で進む次世代AI活用

次世代AI株式戦略ファンド 追加型投信/内外/株式

- 平素は『次世代AI株式戦略ファンド』(以下、当ファンド)に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
- 本レポートでは、当ファンドの足元の運用状況についてご紹介します。

世界中のエンタメ業界で広がる次世代AIの導入

映画、ゲーム、アニメ、音楽などのエンターテインメント分野では、人工知能(AI)ツールの導入が急速に進んでいます。今までも技術革新が業界を大きく変えてきましたが、次世代AIはコンテンツ制作・配信・収益化など、あらゆる工程を変革し、業界構造を再構築しつつあります。メディア・エンターテインメント市場におけるAI関連市場規模は、2024年に既に約218億米ドルに達しています。今後は、次世代AIの活用拡大により、2033年までに約1,957億米ドルに成長する見込みで、これは年平均成長率27.6%と急速な成長が見込まれています。



次世代AIがエンタメ業界で担う役割：作る・届ける・稼ぐ・支える

作る(制作)

従来、時間と人手を要していた工程が、生成AIによって自動化されつつあります。生成AIで絵コンテの自動生成、背景や小物の生成、さらには3D素材の作成にも活用され、制作工程の効率化が進んでいます。複雑な調整や修正作業が自動化された新たなワークフローへと移行し、制作にかかる時間とコストが大幅に削減されています。その結果、クリエイターや専門スタッフは、より創造的で付加価値の高い作業に集中できるようになっています。今後はエージェント型AIがさらに普及することで、自動化の範囲が一層広がり、制作現場全体の効率化が加速する見込みです。

届ける(配信・発見)

AIはコンテンツを世界中に同時展開する能力を備えています。自動字幕・自動吹替・ロパク同期により多言語化が容易になり、地域ごとの市場に合わせた展開を可能にしています。また、視聴履歴を活用した高精度なレコメンド機能により、「見つかる確率」が大幅に向上。世界の主要なエンターテインメント企業は、従来の「不特定多数に一律で配信する」というマス配信モデルから、AIを活用した「一人ひとりに合わせたパーソナライズ配信」へと移行しつつあります。

稼ぐ(マネタイズ)

広告・課金設定の最適化にも次世代AIの活用が進んでいます。AIが広告素材を自動で生成し、ユーザーごとに最適化された広告提案を行うことで、広告効果の向上や収益性の改善が期待されます。

支える(配信インフラ・権利管理)

配信の低遅延化や権利保護にも次世代AIが重要な役割を果たしています。エッジAIによるリアルタイム処理で快適な視聴体験を実現。さらには海賊版検知によって、知的財産の保護を強化し、企業が著作権などの権利を守りながら安心してコンテンツを提供できるよう支えています。

NEXT GENERATION

今後の見通しと運用方針

次世代AIを取り巻く環境は急速に進化を続けています。生成AIの導入は加速しており、その導入スピードや投資収益率は想定を上回っています。これは、AIがまだ普及の初期段階でありながら、既に高い成果が出始めていることを意味し、今後の更なる成長の可能性を強く示唆していると考えられます。次世代AIは多くの産業に応用が広がる汎用技術として捉えることができるため、今後はインフラ企業に加え、AIを活用して新たな価値を生み出すイノベーター企業にも収益機会が広がっていくとみられます。

当ファンドでは、市場環境に合わせてインフラ企業とイノベーター企業の両方にバランスよく投資しながら、競争優位性を持ち、成長が期待される企業に投資を継続してまいります。

オートデスク

国:米国 業種:情報技術 時価総額:約689億米ドル (2025年9月24日時点)

CAD(コンピューターによる設計)ソフトウェア大手。アニメ業界やゲーム業界における複数の制作工程を自動化し、アニメスタジオ等が直面する人材不足や制作コスト上昇の課題に対する解決策を提供。近年アニメが3DのCGハイブリッドアニメーションに移行する中で、同社ツールに次世代AIを組み込むことでキャラクターや背景の自動生成、動きの調整、映像処理の高度化が可能となった。

その結果、コンテンツ制作のさらなる自動化や高速化が期待されており、日本のアニメやゲームスタジオでも導入が進んでいる。

図表4 オートデスクの株価推移
(期間:2022/1/3~2025/9/24、日次)



ロブックス

国:米国 業種:コミュニケーション・サービス 時価総額:約923億米ドル (2025年9月24日時点)

オンラインゲームプラットフォーム大手。ユーザー自身がゲームやアイテムを作れる仕組み(UGC)を基盤に成長。近年では次世代AIの積極的な導入により、プラットフォームの魅力をさらに高めている。例えば、生成AIにより自然言語からゲーム要素を自動生成するツールや、キャラクター動作・背景をAIで補完する機能を提供。また、エージェント型AIにより制作フロー全体をサポートし、開発効率や完成度を大きく高めるなど、その使いやすさ、楽しみやすさから顧客の裾野を広げている。

図表5 ロブックスの株価推移
(期間:2022/1/3~2025/9/24、日次)



* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

(図表4、5出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

販売会社一覧 2025年9月30日現在



受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
 なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
三津井証券株式会社	北陸財務局長(金商)第14号	○			

委託会社
お問い合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

次世代AI株式戦略ファンドに関する留意事項



投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因は、「カントリーリスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。

お客様にご負担いただく費用

- 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。
 - 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.2925%（税抜1.175%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×年率1.826%（税抜1.66%）程度
※実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料：監査費用〔純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）〕
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料で使用しているインデックス>

- MSCI ACWI IndexはMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。